

房総発見伝 in 狂言 鬼の来迎



第1部

レクチャー&
デモンストレーション

山下 浩一郎

狂言「伊呂波」

金法師 小笠原 弘晃
親 小笠原 匡

狂言「成上り」

太郎冠者 小笠原 匡
主人 山本 豪一
すっぱ 吉住 講

第2部

創作狂言「鬼の来迎」

閻魔大王 小笠原 匡
地蔵菩薩 小笠原 弘晃
罪人 山下 浩一郎

吉住 講
山本 豪一

獄卒 泉 慎也
獄卒(音楽) 山口 幹文(鼓童)

辻 勝(鼓童)
阿部 研三(鼓童)

亡者 ワークショップ参加者

作・演出 小笠原 匡
監修・考証 橋本 裕之
出演協力 三条会
若菜の会



平成20年
11月8日(土)

開演:14時(開場:13時30分)

全席指定 S席4,000円 A席3,000円 (学生は各1,000円引き)

※未就学児のご入場はできません。

会場

青葉の森公園芸術文化ホール

◆プレイガイド

青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉三越友の会 043-224-8228

主催/財団法人千葉県文化振興財団
青葉の森公園芸術文化ホール

後援/千葉県・千葉大学地域観光創造センター・
横芝光町・横芝光町教育委員会

助成/財団法人地域創造



お問い合わせ

青葉の森公園芸術文化ホール

千葉市中央区青葉町977番1号

Tel.043-266-3511



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

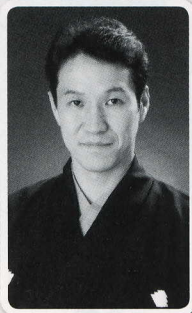
宝くじは、広く社会に
役立てられています。

「房総発見伝in狂言」とは

「房総発見伝in狂言」とは、和泉流狂言師小笠原匡・千葉大学・財団法人千葉県文化振興財団・千葉県民が連携して、この千葉県で育まれてきた伝承を題材に、新たに創作狂言をつくってゆくプロジェクトです。

今年度は、横芝光町に伝わる仏教劇「鬼来迎」を題材とした創作狂言「鬼の来迎」を上演いたします。

第一部	レクチャー&デモンストレーション	狂言についての歴史や演技の約束事について、楽しくわかりやすくお話いたします。
	狂言「伊呂波」	父親が、息子の金法師にいろは四十八文字を教えようとします。ところが、金法師がいちいち親の言うことをまぜっかえすので、ちっとも先に進みません。 親子の微笑ましいやり取りを、どうぞお楽しみください。
第二部	狂言「成上り」	主人と共に、鞍馬寺で通夜をしていた太郎冠者。ところが、寝ている隙にすっぱ(騙り者)が主人の太刀を青竹にすりかえてしまいます。冠者は「太刀が青竹に成上がった」と言って失態をごまかそうとしますが…。 太郎冠者のとぼけた言い訳が笑いを誘う狂言です。
	創作狂言「鬼の来迎」	娑婆の人間に信仰心がなくなったために、地獄はかつてないほどに大繁盛。人手不足に頭を悩ます閻魔大王は、獄卒を連れて自ら六道の辻へと赴きます。 そこでは、生前悪事を重ねた亡者たちが責め苦を受けていました。自分たちの行いに懲りていない亡者たちに、閻魔大王は次々と裁きを下していきます。 そこへ現れたのが、地蔵菩薩。慈悲深いと評判の地蔵菩薩の登場に、亡者たちは大喜びします。 ところが慈悲深いはずの地蔵菩薩は……。



【作・演出】小笠原 匡 (和泉流狂言師)

1965年東京生まれ。初世野村萬(芸団協会長・人間国宝)、故8世野村万蔵(演出家・劇作家)、9世野村万蔵に師事。すでに狂言の大曲である「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。また、新作狂言「鉢かづき」などの作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」などを作・演出する。愛知万博開催記念特別公演「ふるさとの四季」作・演出・出演。2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導をした。2007年には「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬莱貴譚」を作・演出する。現在、萬狂言関西支部代表。重要無形文化財総合指定保持者、(社)日本能楽会会員、(社)能楽協会会員、千葉大学客員教授、佐渡「鼓童」講師。



【監修・考証】橋本 裕之 (盛岡大学日本文学科教授)

1961年大阪生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学(演劇)専攻退学。文学博士。国立歴史民俗博物館助教授、アイオワ大学人類学部客員教授、千葉大学文学部日本文学学科教授などを経て現職。専攻は演劇学、民俗学。近著に『演技の精神史—中世芸能の言説と身体』(岩波書店、2003年)、『心をそだてる子ども歳時記12か月』(講談社、2005年)、『民俗芸能研究という神話』(森話社、2006年)などがある。2005年NHK大河ドラマ「義経」の芸能考証を担当した。



【音楽】山口 幹文・辻 勝・阿部 研三 (鼓童)

「鼓童」は1981年ベルリン芸術祭でデビューした太鼓集団で、太鼓を中心とした音楽芸能を舞台芸術の領域へ昇華させ、これまでに45カ国で3100回を超える公演を行う。2007年には、小笠原匡が作・演出を手がけた「蓬莱貴譚(ほうらいきたん)」に出演した。本公演には、山口幹文・辻勝・阿部研三が、音楽として参加する。

青葉の森公園芸術文化ホール 交通案内

◎JR千葉駅より 京成バス7番のりば

大学病院・南矢作ゆき 中央博物館前下車 徒歩10分

◎JR千葉駅より 千葉中央バス2番のりば

県庁・青葉病院経由 中央博物館(芸術文化ホール)ゆき

芸術文化ホール下車 徒歩5分

星久喜台経由 ハーモニープラザ下車 徒歩8分

◎京成千原線 千葉寺駅より 徒歩15分

